様式1 # 令和5年度　山梨県立中央高等学校　学校評価報告書（自己評価・学校関係者評価）

学校目標・経営方針	自らを尊び、社会を生き抜く人づくりをします

山梨県立中央高等学校校長　古屋　はるみ

本年度の重点目標	
	1　学ぶ楽しさ・わかる喜びを知り、自らの生き方や在り方を問い続ける
	2　社会性を身につけ、自立と自律を目指す
	3　自らを尊び、他者を尊び、地域を尊ぶ

達成度		
	A	ほぼ達成できた。（8割以上）
	B	概ね達成できた。（6割以上）
	C	不十分である。（4割以上）
	D	達成できなかった。（4割以下）

評価		
	4	良くできている。
	3	できている。
	2	あまりできていない。
	1	できていない。

自　己　評　価							学校関係者評価	
本年度の重点目標				年度末評価（2月8日現在）			実施日　（令和6年2月下旬）	
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策	評価	意見・要望等
1	学ぶ楽しさ・わかる喜びを知り、自らの生き方や在り方を問い続ける	・「わかった！」「楽しい♪」「なぜ？どうして？」、「自分だったら」の学びを大切にし、少人数授業の中でも協働的な活動を活用して、個に応じた力を伸ばす。 「基礎・基本の定着と学びに向かう力」 「多面的・多角的に考える力」 「本質的な問いかけ」 ・相互授業参観や授業アンケート結果を活用し、ファシリテーションスキルを身につけ、教員・生徒相互がICTを利活用した授業の実践	・生徒、職員、保護者、学校関係者などによる中間・年度末評価アンケートなどによる ・教職員の授業実践状況及び自己観察書 ・生徒の学力状況	・生徒によるアンケートの結果「楽しい、わかったと思える授業がある」88%、「自分の在り方、生き方を考える機会がある」87% ・保護者によるアンケートの結果「生徒は授業がわかりやすいと言っている」89%、「学校での活動を通して、生徒の成長を感じる」97%という高い結果であった。 ・生徒によるアンケートの結果「他の人の話や発表に耳を傾けることができた」が93%と高く、自分も相手も大切にできている。 ・教員によるアンケート結果「主体的・協働的な学びなどを取り入れて、自ら学び自ら考える力（自己の在り方、生き方）を育成している」が93%と高く、ファシリテーションスキルを向上させながら、CHUOハーモニックプランに基づく教育を実践している。 ・保護者によるアンケート結果「生徒は、授業や家庭学習にICT機器（タブレット端末等）を効果的に活用することができている」が71%と他と比べ低い結果となった。	A	・生徒は概ね前向きな態度で授業に臨んでいる。教員の授業改善の効果もあり、学習への意欲は高まっている。 ・生徒はペアワークやグループワークの活用で「自分にもできるや楽しい」という実感を得ている。一方でアルバイトなど就業している生徒が多く、家庭学習の時間が少なく、学習の定着については課題が残る。 ・教職員のファシリテーションスキルで、認める・引き出す・まとめるにおいては効果を上げている。しかし、他とコラボする点で、情報共有や外部連携を踏まえてより一層の推進が求められる。 ・一人一台のBYOD端末の使用も2年目となり、ICTの利活用など、教員の授業改善が進んでいるが、個々のスキルに若干の差がある。ICT支援員の協力を得て、講習会の開催や、ICT係からの情報提供などを行い教職員のICT利活用の向上を図った。今後も継続していきたい。	4	・先生方の授業改善により生徒の学習意欲が高まっているとのこと。是非これからもいろいろな工夫をしていって欲しい。特にICTの活用については、先生方すべてができるように研修していって欲しい。 ・「わかった！」「楽しい」から「自ら学ぶ姿勢」へと繋げていって欲しい。 ・8割以上の生徒が肯定的である評価結果は素晴らしいと思います。小学校でつまずいた生徒の学び直しの機会もさらに進めて欲しいと感じます。 ・保護者によるアンケートの結果、「生徒は授業がわかりやすい」「学校での活動を通して、生徒の成長を感じる」の項目が89%、97%という高い結果であることから、保護者は教員に全幅の信頼を寄せている。 ・少人数授業の特性を生かして教員は「基礎・基本の定着と学びに向かう力」「多面的・多角的に考える力」「本質的な問いかけ」に力を入れて取り組んでいる。又、生徒は「わかった！」「楽しい♪」「なぜ？どうして？」、「自分だったら」の学びを大切にし、協働的な活動を活用して、個に応じた力を伸ばしていけたらと思います。
2	社会性を身につけ、自立と自律を目指す	・「種まき・芽生え・成長」という意識で、生徒一人ひとりの発達段階に応じたサポートの実践 ・「総合的な探究の時間」での「山梨を知る」探究活動や遠足を通して、地域を愛し、地域に貢献しようとする心を育む ・ソーシャルスキルトレーニングや通級指導を通して、他者との関係をよりよく築く	・生徒、職員、保護者、学校関係者などによる中間・年度末評価アンケートなどによる ・ハーモニックプランの実践状況 ・通級指導の実践状況	・生徒によるアンケートの結果「学校は、生徒の自立性、自主性を尊重してくれている。」98%と高い数値を示している。 また、『CHUOハーモニックプランの目標「私もできるかも、私には価値があるかも」といった自信が以前より持てるようになっている」が昨年から8ポイント増加し88%となっている。 ・保護者によるアンケート結果「生徒一人一人の理解を深め、生徒の自主性、自立性を高めるような生徒指導がなされている。」が肯定的評価96%と高い評価になっている。「学校での活動を通して、生徒が前向きに取り組んでいる。」は肯定的評価が92%であった。このように、CHUOハーモニックプランに基づく効果について保護者も満足度が高い。 ・職員によるアンケートの結果「CHUOハーモニックプランに基づいた教育活動が実践されている」は98%であり、実践状況は概ね良好であった。 ・生徒によるアンケート結果『私にとって「THE　ENSOKU」は、山梨の歴史や文化が知れ、仲間と交流を深める機会になっている』には94%の生徒が肯定的な意見であった。 ・職員によるアンケートの結果では「個別の教育支援計画に基づいた支援や社会性の育成（SST）に努めている」は98%であり、特別支援教育に理解を示している。	B	・CHUOハーモニックプランに対しては、生徒・保護者・職員からも高い評価を得ており、学校としても概ね目標を達成できた。今後も教職員間で情報を共有し、外部との連携も含め個々の生徒に合わせたサポートを行っていく。 ・「THE　ENSOKU」や「総合的探究の時間」で地域の講師を招き、地域の伝統や文化を生徒が学習する機会を多く設けた。地域理解や地域を愛する心を育むことになっている。次年度以降もさらに充実させていく。 ・今年度行った消毒スプレーの寄贈、義援金活動やフードバンクへの協力などの活動から、生徒の自信を高めていく活動を継続していく。 ・多様な生徒に対応するため、生徒指導支援会議、通級委員会を開催し、情報共有と必要な支援策を検討した。今後も生徒に合わせた支援を継続していく。	4	・CHUOハーモニックプランに基づき、いろいろな仕掛けを用意し実践していると思う。あとはその検証を行い、次への改善へと繋げていくことが大切だと考えます。是非継続していってください。 ・定時制に進学してくる生徒にとっては、社会性を身につけることは特に大事です。これからもいろいろな工夫をお願いします。 ・様々な取組により目的を達成しようとされていることがわかりました。 ・学校や教育という枠では対応できない困難な生徒への対応について、どのようなコンサルテーションが行われえているのかが気になります。 ・生徒によるアンケートの結果から、教員により生徒にやる気を起こさせる気概が育っている。 ・保護者によるアンケート結果、CHUOハーモニックプランに基づく効果について保護者も満足度が高い。 ・生徒によるアンケート結果、「THE　ENSOKU」は、94%の生徒が肯定的な意見であった。生徒にとって一生の宝物となったであろう。 ・特別支援教育で神経を使うと思うが、生徒が取りこぼしのないように気を遣っている。 ・CHUOハーモニックプランに基づいた教育活動が、全ての面で行き届いており、生徒に自信を植え付けている。
3	自らを尊び、他者を尊び、地域を尊ぶ	・授業や行事の中での「命を守る、命を大切にする」学習を通して、多様化する社会の中で自立して生き抜く力を高める ・「自らの生き方や在り方」を深める生活体験発表や、面接指導など実践的な進路学習を通して、社会的・職業的自立を目指す ・職員の心身における健康づくりの推進	・生徒、職員、保護者、学校関係者などによる中間・年度末評価アンケートなどによる ・研修実践状況 ・教職員の健康状況	・生徒によるアンケート結果「自分の在り方、生き方を考える機会がある」では87%の生徒が肯定的な意見であった。 ・保護者によるアンケート結果「学校は、いじめのない学校を目指し、適切な対応をしている。」に対して95%が肯定的な意見であった。 ・教職員によるアンケート結果「生活体験文を通して、自己を見つめ、自尊感情や自立意識の向上の場となっている。」には91%の教職員が肯定的な意見であった。また、生徒によるアンケート結果「講演会・インターンシップ・課外講座・進路情報の提供など、体系的なキャリア教育が企画・実践されている。」では肯定的意見が93%と高い。 ・教職員の健康管理については職員健康診断や教職員巡回健康相談、ストレスチェックを実施する中でメンタルヘルスの実施や情報提供を行った。教職員が年間を通じ長期の休暇を取得することなく勤務できたことは評価できる。	B	・「命の授業」、「ストレスマネジメント」等の講演会、保健体育や家庭科等の授業で命を守ること、命の大切さについて考える学習を積極的に行った。また避難防災訓練を通じて、防災教育を行った。 ・生活体験文は生徒にとって「生き方・在り方」を深める機会となっている。次年度以降も、生活体験文作成と発表を通じて生徒の成長を支援していく。今年度の山梨県教育祭における生活体験発表で、2年連続で本校定時制生徒が最優秀賞を獲得した。県代表として11月に全国大会に出場し賞を獲得した。 ・進路に向けての講演会や個別指導等を実施し、生徒の社会的・職業的自立を支援したい。また、年次、進路、教育相談と連携し情報を共有しながら生徒の自己実現を図っていく。 ・職員の心身の悩みに対して気軽に相談できる体制を更に整えていく。	4	・今、まさに多様性の時代。ますます、自らを尊び、他者を尊ぶことが求められています。「命の授業」や「ストレスマネージメント」等、本当に多くの〇〇教育があります。行事だけではなかなかカバーできない部分もありますが、各教科の指導のなかでもできることはあると思います。よろしくお願いします。 ・「生活体験文」は、自己を見つめ直す、整理する、将来を考える上で非常に有効になると思います。全員がしっかり取り組めるようお願いします。 ・多様な対応が求められ、それに対応している先生方のメンタルヘルスを心配しております。（教職員が長期に休む事になれば、生徒に与える影響が大である） ・保護者によるアンケート結果「学校は、いじめのない学校を目指し、適切な対応をしている。」に対して95%が肯定的な意見であったことから、保護者は学校を信頼して生徒を委ねている事が伺い知れる。 ・生徒によるアンケート結果「講演会・インターンシップ・課外講座・進路情報の提供など、体系的なキャリア教育が企画・実践されている。」では肯定的意見が93%と高く、教員が生徒にいかに寄り添っているかがわかる。 ・教職員が年間を通じ長期の休暇を取得することなく勤務できたことは評価できる。教職員が長期に休む事になれば、生徒に与える影響が大であ

留意点　（1）重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
（2）学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。